

# JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報 (月刊)

March 2013  
Issue No. 293

## CONTENTS

在米日系人リーダー訪日プログラム・歓送会ディナー & 第162回ビジネスセミナー…………… 1  
在米日系人リーダー訪日プログラム・歓送会ディナー …………… 2- 3  
第162回ビジネスセミナー… 4- 5  
異業種交流会(ミキサー)…………… 6  
各部会からのお知らせ…………… 7-11

## March Event Calendar

3/8 (金)  
ダウンタウン地域部会期末総会 & 懇親会  
(ダウンタウン地域部会)

3/10 (日)  
ヘリテージ資料館での  
ガーデニング体験 & 園内ツアー  
(オレンジ・カウンティ地域部会)

3/14 (木)  
電気自動車と太陽光発電システム研修会  
(企画広報部会)

オレンジ・カウンティ地域部会  
期末報告懇親会  
(オレンジ・カウンティ地域部会)

3/15 (金)  
特別経済セミナー  
(企画広報部会)

サウスベイ地域部会期末懇親報告会  
(サウスベイ地域部会)

3/17 (日)  
LAマラソンサポート  
(企画広報部会)

3/17 (日)~19 (火)  
World Baseball Classic 観戦  
(ダウンタウン地域部会)

3/22 (金)  
JBA 総会

## Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 270, Gardena, CA 90248  
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>

## Report

JBA

## 在米日系人リーダー訪日プログラム 歓送会ディナーを開催



去る1月26日、リトルトーキョーの日米文化会館で「在米日系人リーダー訪日プログラム」の参加者を招いた歓送会ディナーが開催された。当日は、今年日本に派遣される日系人リーダー10名やアイリーン・ヒラノ・イノウエ団長を始め、新美潤日本国総領事、米日カウンシル関係者、およびJBA関係者ら約50名が出席。昨年12月に亡くなったアメリカ民主党上院議員のダニエル・イノウエ氏への黙祷なども含め、約2時間の会は和やかに終了した。(→次ページに続く)

## Seminar

企画広報部会

## 第162回ビジネスセミナー

## 『2012年米国納税者救済法』と 今後の税法改正の見通し

去る1月25日、トーランスのミヤコハイブリッドホテルにて、第162回ビジネスセミナー『『2012年米国納税者救済法』と今後の税法改正の見通し』を開催した。当日は、KPMG LLP ロサンゼルス事務所ジャパニーズプラクティス税務部門代表パートナーの野本誠氏が講演。きわどく回避された財政の崖に関する政治的攻防と背景、今後予定されている税制改正の方向性、これらが在米日本企業の事業戦略に及ぼす影響について考察を加えた。(→4ページに続く)



(→1ページから続く)

# 今年で13回目を迎える 在米日系人リーダー訪日プログラムとは



冒頭で挨拶をする増田 JBA 会長

## 在米日系人リーダー 訪日プログラムとは

2000年から始まった「在米日系人リーダー訪日プログラム」。今年で13回を数えるこのプログラムは、日米友好と相互理解の促進、在米日系人の役割拡大、日系人リーダーのネットワーク構築などを目的に始まった。日本の外務省が主催し、日系人側（アメリカ側）は米日カウンシルが事務局として運営。会長のアイリーン・ヒラノ・イノウエさんが団長としてリーダー陣を率いている。

毎年、会社役員や起業家、医師、弁護士、教師など、さまざまな分野で活躍する日系アメリカ人10～15名を全米規模で選出し、日本に招待する。日本では、政治家や財界人と会談するなど、経済、教育、環境など多岐にわたって意見を交換。日米の相互理解を深めるために、連日、密度の濃いスケジュールが組まれている。

さて、今年の訪日リーダーに選ばれたのは10名。3月8日から16日の旅程で日本を訪問する。東京での日程のほか、3月10日に開催される福島市でのシンポジウムに3人のリーダーがパネリストとして参加し、東日本大震災の復興における日米協力について意見を交換する。

## 日系人リーダーの重要性と 日米における役割を再確認

夕食会は予定通り午後6時から始まった。冒頭で、昨年12月に亡くなったアメリカ民主上院議員のダニエル・イノウエ氏に全員で黙祷を捧げた。司会を務めたユニオンバンク広報部シニア・バイス・プレジデントの海部優子さんは、「私たちは、日米関係にとって最も重要な人物、ダニエル・イノウエさんを失いました。彼はアメリカ人にとって偉大なヒーローであり、私たち日本人も彼を深く



ユーモアを交えながらスピーチをする新美総領事

尊敬していました。日米関係を強固に、かつ友好的に維持することに尽力されたイノウエ議員に、皆さんと黙祷を捧げたいと思います」と、同氏の生前の活躍を称えた。

黙祷の後、増田義彦 JBA 会長が壇上に立ち、「リーダーの皆様、選抜おめでとうございます。JBAは500社を超える日系企業で成り立つビジネス団体で、その使命はビジネス環境の改善と発展です。その実現には、円滑な日米関係は不可欠です。ですから、皆さんにはこのプログラムを通してより深く日本を理解し、日米関係のさらなる発展に貢献していただきたいと思います」と挨拶した。

次に新美総領事が「英語でのスピーチは苦手ですが…」と冗談を飛ばし笑いを誘いつつ挨拶。「在ロサンゼルス総領事館は、JBA等とアメリカ社会とのネットワーク構築をこれまでサポートしてまいりました。ですから、こうしたイベントに協力できることはとても光栄です。引き続き日系アメリカ人との絆の維持に全力で貢献したいと思います」と決意を語ると共に、イノウエ氏の功績も讃えた。

イノウエ氏の妻、アイリーン・ヒラノ・イノウエ団長も壇上に立ち、次のように挨拶した。

「JBAを始め、このディナー会を開催してくださった関係者の



関係者に謝辞を述べると共に、プログラムの意義を話すアイリーンさん

方々に心よりお礼申し上げます。また、昨年主人が亡くなった時は多くの方から励ましの言葉やお手紙をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。実は主人は、経済レベルでの日米関係にとっても気を遣っておりましたが、それだけでなく、色々な分野で活躍する次世代の日系人リーダーと日本人との関係がとても重要であると強く信じておりました。ですから、彼も今日のこの集まりをとっても喜んでおると共に、感謝していると思います。

アイリーンさんの挨拶の後、訪日するリーダー一人ひとりにマイクが渡り自己紹介。その後、室井真澄 JBA ダウンタウン地域部会長の威勢のいい乾杯の音頭で夕食会が始まった。



ダニエル・イノウエ氏に黙祷を捧げる

LOS ANGELES  
DOWN TOWN



**MIYAKO  
HOTEL**  
LOS ANGELES

328 E. First Street  
Los Angeles, CA 90012  
Phone: (213) 617-2000  
Fax: (213) 617-2700  
www.miyakohotel.com

Experience Modern Japan In An All New Green Environment.



**MIYAKO  
HYBRID  
HOTEL**  
TORRANCE, CALIFORNIA

21381 S. Western Avenue  
Torrance, CA 90501  
Phone: (310) 212-5111  
Fax: (310) 212-5112  
www.miyakohybridhotel.com



# 日米の架け橋になることを 改めて確認したリーダーたち

会場で5名のリーダーに訪日の抱負や想いを聞いた。



## ①ケリー・オギルビーさん

これで2度目の訪日です。1回目は22歳頃で、強烈な文化的価値観を体験したのを覚えています。私はアメリカ文化で育っていますが、今回の訪日で自分のルーツを再確認すると共に、福島訪問では、日系アメリカ人の目から復興の様子やそこに暮らす人々の真の姿を見て、学びたいと思います。また、政治家やビジネスオーナーとの次元の高い懇談会では、今後どう日米関係を維持するかなどの意見交換をしたいと思います。



## ②ケンゾー・カワナベさん

訪日グループとしては、世界で最もバワフルな2国、アメリカと日本の重要な関係をより強固にするために貢献できるような頑張りたいと思います。個人レベルでは、日系4世である私に先祖から脈々と流れている日本の価値観を学び、体験したいと思います。このプログラムに応募したのは、こうした個人レベルの理由だけでなく、文化的、ビジネス的な交流を深めることで、日米双方をよく知り、関係強化に貢献できると思ったからです。



## ③マリオン・フリーバス＝フラマンさん

このプログラムに応募したのは、私は生まれながらにして日米の架け橋的存在だと思っていたからでした。そしてこのプログラムに参加することで、自分の視野が広がり、よりインパクトを持つと思ったからです。日本では、福島で何が起きているのか、人々が欲しているものは何か、私が貢献できることは何か、そして人を励ますにはどうすればいいのかなどを考えながら、多方面で日米の架け橋になれる方策を探したいと思います。



## ④デービッド・ヤマハタさん

私はロサンゼルス消防局で35年間働いており、地震や土砂崩れ、自然火災などの緊急事態に対応することが任務です。東日本大震災の時、私に何かできないか、そして彼らが自然災害にどう立ち向かっているのか学べないかと思いました。そして、それにはこのプログラムが最適だと確信しました。昨年応募しましたが不合格で、今回の再挑戦で合格。私の経験や知識を日本の方と共有すると共に、彼らからの学びをアメリカに伝えたいです。



## ⑤エイミー・ヤマシロさん

福島での災害の後、コミュニティーレベル、あるいは個人レベルで、人々がどう助け合い、傷を癒しているのかを知りたいと思っています。当地の人たちから体験に基づく生きた話をお聞きし、それをアメリカに戻ってシェアできればと思っています。広島の実験から始まり、さまざまな苦難を経てきた日本人の精神力は偉大で、そのスピリットは私たち日系人にも受け継がれています。その精神力を学びたいと思っています。

### 2013年度日系人リーダー紹介(敬称略)

- ジュリー・アズマ (DRL ブックス社社長兼創業者/ニューヨーク)
- マリオン・フリーバス＝フラマン (トーマス・ドゥーリー小学校校長/イリノイ)
- マーティン・イグチ (ジョージタウン大学看護保健学部長兼教授/ワシントンDC)
- ケンゾー・カワナベ (デービス・グラハム・アンド・スタッフス法律事務所パートナー/コロラド)
- エミリー・ムラセ (サンフランシスコ市女性の地位局長/カリフォルニア)
- ヴァン・ナイトウ (ナイトウ・コーポレーション副社長/オレゴン)
- ケリー・オギルビー (Quemulus社創業者・会長兼COO/ワシントン)
- エリック・タカハタ (ハワイ・ツーリズム・ジャパン社長/ハワイ)
- デービッド・ヤマハタ (ロサンゼルス市消防局本部副部長/カリフォルニア)
- エイミー・ヤマシロ (アーリントン郡公立学校データ・評価調整官/ヴァージニア)

Social Media  
Reach & Results Report  
www.smviz.com

その商品、評判気になりませんか？ **KDDI**  
KDDI America

Twitter解析ウェブツールがKDDI Americaから新登場。



欲しいキーワード  
すべてに関連する  
ソーシャルオピニオンを  
Twitterから抽出！

ツイートを収集して解析

ユーザのプロファイリング

プロフィール分布をビジュアライズ

お問合せ先

TEL: 310-618-6000 / Email: la-sales@kddia.com (担当者: 矢野まで)

(→1ページから続く)

企画広報部会

第162回JBAビジネスセミナー

# 『2012年米国納税者救済法』と 今後の税法改正の見通し

## 財政の崖の 背景

今日のセミナーの表題は『2012年米国納税者救済法』です。英語で言うと、「American Taxpayer Relief Act of 2012」であり、2012年の半ばから年末にかけて議会で大騒ぎしていた「財政の崖」(Fiscal Cliff)に関して、民主党・共和党の間での妥協により成立した法律です。

Fiscal Cliffの背景には、アメリカ政府の財政赤字の問題があります。アメリカ政府の過去40年間のGDP(国内総生産)に対する収入と支出を見ますと、ほとんどの年で支出が歳入を上回っており、毎年赤字が発生している状況です。

時代別に見ますと、1980年代から1990年代にかけては軍事費が増大したり、景気が悪化し、歳入が減ったため、かなり赤字が大きくなりました。その後のクリントン政権の時代は、常に景気が拡大していた時代でした。またクリントン大統領は財政再建策を実施し、その結果、ずっと赤字続きだった財政が98年には黒字に転換しました。

その後、ブッシュ政権に交代した途端に、ネットバブルの崩壊や9・11の同時多発テロがあり、景気が急激に悪くなったため、景気対策としてブッシュ減税が実施されました。これが今回のFiscal Cliffと言われる問題の1つの大きな原因になっています。なぜならブッシュ減税は、恒久的に税金を減らしたのではなく、10年間に限って所得税の税率を下げるといった内容の期限立法になっていたため、10年経つと元のクリントン時代の高い税率にいきなり逆戻りしてしまうからです。その後、リーマンショックが起き、それに対す

る景気対策でかなりお金を費やし、減税も行ったためにまた財政赤字が大きく膨らんでしまったのがバックグラウンドです。

アメリカ政府の財政問題を語る上で財政赤字と並んで、大きな要素になるのが債務(Federal Debt)の問題です。1940年から2010年までの連邦政府のインフレ調整後の債務の額を見ると、80年代までは横ばいですが、その後はどんどん増えています。

このように赤字が膨らんで連邦政府の借金が増えていくと、最後はどこかで破綻します。そうならないように、アメリカの法律では、連邦政府が借りている金額、つまり債務の上限が決まっています。その上限を超えて国債を発行することは基本的にはできません。しかし赤字が続いていますから、お金を借りなければ仕方がないということで、レーガン政権の時代から、何十回と債務上限の引き上げをやっていました。11年の夏には、上限いっぱいのお金を借りているので、このままではデフォルトを起し、アメリカ政府が発行した国債の利息も払えず、元本が返済できないという状況が真実味を帯びる局面を迎え、議会での議論の末に、「2011年財政管理法」が成立しました。結局デフォルトを避けるために債務の上限を上げたわけですが、今後も赤字が続いたら、いくら債務の上限を上げてでも追いつかないということで、共和党の要求で上限を上げる代わりに支出をカットする条項を入れました。この強制的な支出のカットという条項がFiscal Cliffのもう一つの大きな要因になっています。

そもそもこのFiscal Cliffという言葉は、12年2月にバーナンキ連邦準備制度理事会議長が言い出したと言われていますが、

議会予算局がFiscal Cliffが起きるとどうなるかをマクロ経済の観点から分析しています。これによれば、Fiscal Cliffが起きて、増税があり、しかも政府の支出をカットすることになると、当然政府の歳入が増え、支出が減り、財政赤字も債務も減りますので、非常にいいじゃないかと思われるかもしれませんが、その結果経済成長が落ち、景気が悪くなり、失業率も高くなってしまふことが予想されます。政府の財政としては良くても、その対価としてアメリカの経済がダメになってしまつては元も子もありません。

## 民主党と共和党の アプローチ

12年11月の選挙後、アメリカの議会では、下院でも上院でも民主党が若干議席を伸ばし、共和党が議席を減らしている状況ですが、選挙前と変わらず下院は共和党が過半数を握っています。上院では民主党の方が優勢で、いわゆるねじれ議会という現象が起きています。

ここでアメリカの2大政党、民主党と共和党のそれぞれの基本的な政策の違いをおさらいしましょう。一般的には民主党がリベラルで、共和党が保守と言われていますが、経済政策においては、民主党はいわゆるケインズ学派的なアプローチで、税金はたっぷり取り、政府がお金をどんどん使って経済を刺激していこうという考え方です。それに対して共和党の願望は、いわゆるレーガノミックスの再来です。レーガン大統領は非常に大胆な減税をし、所得税率も大幅に下げたのですが、そうすることで経済が活性化し、逆に税収は増えたという実績があります。これが共和党の理想型です。



日系企業へのタックス・プランニングのアドバイスなど、関心の高いテーマをわかりやすく解説した野本さん

政府の規模については、民主党の主張は大きな政府による財政出動が経済活性化の原動力になるという考え方ですが、共和党はとにかく政府は小さくあるべきで、民間ができることは民間に任せることで雇用と経済が良くなるという考え方が強い。増税に関しても、オバマ大統領は、お金持ちには応分の税負担をしてもらわなければいけないと、特に富裕層への増税を強く打ち出していますが、共和党はとにかくどんな形であれ、増税は反対、むしろ税金を減らすことで景気が良くなるという考え方で相容れません。

社会福祉に関しては、民主党は高負担、高福祉ですから、ソーシャルセキュリティのプログラムなどを削るのは受け入れがたい。共和党はロムニーさんが大統領候補の時に「政府のスネをかじって生きている人たちが何百万人もいる」と失言しましたが、これが共和党の本音と言いますか、福祉コストがかかり過ぎているのではないかと考えています。

とどのつまりが、財政赤字をどうするか、連邦政府の借金をどうするかと言った時の解決策として、民主党がまず言うのが増税。税金を増やして歳入が増えれば赤字も減るし、借金も減るというのが民主党の考え方です。一方、共和党は、税金を増やすのは、まず政府の無駄を省いて支出を削ってからやりなさいと主張しています。

このように二大政党の間では考え方に大きな隔たりがありますが、妥協が成立しにくくな



ている原因としては、一つには民主党と共和党の勢力が非常に拮抗していること、二つ目は各州ごとにどちらの党の候補が勝つか固定化してきているということがあります。そうすると、候補者は他の党からの攻撃よりも、自分の党内での批判を気にして他党の政策に妥協しづらくなるわけです。そういうこともあって、11月の選挙前の112期の議会は、通った法案の数で見ると、これまでのアメリカの歴史の中で最低の部類に属するとされています。

### Fiscal Cliff の争点

Fiscal Cliffの争点ですが、民主党は富裕層に増税して歳入を増やすのが基本的な方針で、高額所得者の税率アップが最優先です。さらに個人所得税の控除の見直しも主張しています。共和党サイドは、とにかく税率だけは上げたくないが、控除を削る形で増税するのであれば、ある程度は受け入れる姿勢を見せています。

支出の問題については、先に述べた2011年財政管理法で、債務上限を上げる代わりに9000億ドル強の支出をカットし、さらに追加の支出カットのための法律を議会で作るようになっていきましたが、それができなかったため、今年の1月2日以降に政府の支出を今後10年間にわたって1.2兆ドル自動的に一律でカットする条項が発動されることになりました。これがFiscal Cliffの最も大きな要因の一つとなっていた訳です。また、債務上限の引き上げも大きな争点です。

一番大きな話題になっていたのは、プッシュ減税の延長をやるかやらないかです。当初の減税期間は10年12月までということで、本当は2年前に失効していたのですが、景気も戻っておらず、増税が起きると不況がさらに悪化してしまうということで2年延長したわけです。もしそれが今回全部切れてしまうと、すべての所得階層において個人所得税の大増税が起きるこ

とになります。

### Fiscal Cliff 回避案の成立

皆さんご存知のように年末ギリギリまで議会で大論争が続き、一部にはFiscal Cliffが実現し不況に突入するとの半ば諦めムードもありました。ところが、実際にすべての所得階層で増税が起こると、富裕層も含めて一切の増税に反対していた共和党が悪者になってしまうという懸念もあり、共和党サイドが妥協を受け入れる急展開になったわけです。

妥協案で言及されずに残ったのは、債務上限の引き上げ問題です。色々な案が出ていましたが、オバマ大統領は1月12日に、「今ある政府の借金は議会が承認した支出によるものであり、それを今さら払うか払わないかは論議すべき問題ではない」と強いメッセージを発しました。結局は18日の時点で、5月18日までの間に発生する債務については債務上限の対象外とすると共和党が譲歩し、法案が下院で可決されました。この法案は上院で可決後に大統領もサインすると言っていますので、債務上限の問題は5月まで先延ばしできたこととなります。

ただし、3月1日になると、先送りした連邦政府支出の一律削減の話がまた出てきますので、それをどうするかが問題です。さらに政府予算の執行問題というものがあり、政府の支出を承認する法律が3月27日で切れてしまうため、その後政府がお金を支払うためには議会の承認が必要になるという問題があります。また5月18日まで先延ばしした債務上限の問題も、最終的な解決が必要です。議会では、移民法の改正や統規制を始め、難しい問題が出てきていますので、これらの財政問題も含めて今後数カ月の間は大きな動きが続くと思います。

### 今後の税制改正の方向性

今年1月現在の世界各国の法

人税の法定実効税率を見ると、ヨーロッパやアジアの30カ国近くの中で、アメリカが40%、日本が38%でナンバー1と2になっています。なぜこれらの国々が日本やアメリカに比べて低い税率の法人税でやっていけるのかというと、消費税、付加価値税などの間接税の税率が高く、それらで財源を確保しているからです。

法人税が高いということは、その国の企業の競争力に関わってくるので、それを何とかしないといけないというのは日本もアメリカも同じです。法人税の税率を下げたいという思いは、政治的に民主党も共和党もあまり違いがなく、20%台後半まで税率を下げることに限っては、民主党も共和党もすでに合意済みと言えます。

ところが法人税の税率を下げるためには、政府の財政が厳しいことを考えると、その財源をどう確保するかという問題が出てきます。議会の両院租税委員会が試算したところ、例えば法人税率を28%まで下げると、今後10年間で約7000億ドルの財源が必要になります。

議会予算局のレポートによると、例えば在庫品の取り扱いルールでLIFOおよび低価法を撤廃すれば、1千億ドル程度は確保できるとされています。あるいは、鉱業における探掘・開発費の損金算入制度を撤廃すれば、100億ドル程度が見込まれます。日系企業にも影響があるところでは、減価償却期間の延長で2400億ドルくらいの財源になると言われています。

その他、もし実現すれば効果が大きいのですが、連邦レベルで付加価値税を導入するという案もあります。税率を5%として一切非課税項目がないとすると2兆5億ドルの莫大な財源になると言われています。

下院のキャンプ政策委員会院長が税法改革のたたき台として出しているアイデアでは、法人税の税率を25%まで下げることが柱になっていますが、個人の所得税率も25%まで下げようと

言っています。その他は国際関係の話が中心ですが、例えば海外子会社からの配当に関しては、世界のすう勢にならって、日本と同じように免税することが提案されています。日系企業に関係があるところでは、過少資本税制の強化です。これが入ると、日本の親会社からお金を借りているケースでは利息の損金算入が取りづらくなるケースが出てくるかもしれません。

### 日系企業にすすめるタックス・プランニング

税法改正の話からは余談になりますが、日本の会社の表面実効税率を計算して見ると、軒並み高い税率です。日本の本国の税率は38%ですが、それを上回っているケースもあります。それに対して、アメリカの会社は本国の法定実効税率が40%なのに、20%とかと非常に低い。色々な理由がそれぞれの会社にあると思うのですが、日本とアメリカで最も大きく違うのはタックス・プランニングに対する姿勢です。

アメリカの会社は、無形資産をどんどん海外に持っていったりなど大掛かりな節税対策をしています。もちろん、アメリカの会社がやっているような節税の手法は、そういう制度があって初めて可能となることで、日本の税務環境ではここまではできないと思うのですが、日本の会社も出て行った先々の国でローカルに認められている最低限のタックス・プランニングはやっていいのではないかと思います。今後の法人税の改正動向も横目で見つつ、色々な税金について皆さんの会社でもどういう風に捉えていくかを常に考えていただければと思います。



今後の動向が企業活動や生活にダイレクトに関係してくる税制改正がテーマとあって、会場はほぼ満席となった

企画広報部会

# 人気のブリュワリーレストランで 和気あいあいとミキサー開催

2月13日の異業種交流会は、コスタメサのブリュワリーレストラン「Karl Strauss」で開催した。会員企業のゲストとしてJBA未加入企業も参加し、70人を超える参加者が交流を深めた。(皆さんのお名前は写真左から)



SYSCOM (USA) LLC.の上野さんと榎本さん、Velociti Alliance America, Inc.の永山さん。「色んな方と知り合って、仕事の幅をどんどん広げていきたいと思っています」(上野さん)「おいしいビールを飲みながら、色んな会社の方とお会いできて光栄です。また来ます」(榎本さん)「たくさんの人に一度に会えて大変いい会です」(永山さん)



VORTEX PROMOTIONS, INC.の榎木さんと中原さん、馬場歯科医院の馬場さん。「皆さんと話して、楽しくネットワークしたいです」(榎木さん)「皆さんと知り合いになって親交を深め、商売にも役立てていきたいです」(中原さん)「食事もおいしいですし、楽しいお話を皆さんとさせていただけありがとうございます」(馬場さん)



Gray Constructionの岡崎さんとKomatsu Forklift USA, LLCのクリスティアンセンさん。「こういう会は色んな人に知り合う良いきっかけになり、非常にありがたいです。にぎやかで、おいしいものも食べられるので、いい企画だなと思います」(岡崎さん)



Komatsu Forklift USA.の森本さんとKDDI America, Inc.の久保さん。「今日はシカゴからやってきました。非常に楽しく過ごしております」(森本さん)「参加するのは初めてなので、とても楽しみにしていました。今日は頑張っははじけていきます」(久保さん)



KYOCERA Document Solutions America, Inc.の中河さんとPasona NA, Inc.の藤井さん。「あまりこういう交流会に出てこなかったのですが、今年からできるだけ参加しようと思っています」(中河さん)「オレンジ・カウンティでのつながりができたらと思い、参加させていただきました」(藤井さん)



MINO INDUSTRY USA, INC.の豊田さんと seeknet USA の倉田さん。「初めて来たので、人間関係を作れればと思っています」(豊田さん)「新しい方に出会えればと思っています」(倉田さん)



ShiniMaywa (California), Ltd.の須山さんと Total Computing Solutions of America, Inc.の千々和さん。「初めて参加したのですが、とても楽しそうで、これからも参加したいです」(須山さん)「久しぶりの参加です。いつもに増してにぎやかな会ですね」(千々和さん)



Total Computing Solutions of America, Inc.の新井さんと竹村さん。「日本の企業の集まりがあるということで、プライベートもビジネスも含めて仲間を探しに来ています」(新井さん)「久しぶりで見慣れない顔が多いので、頑張って名刺交換をしていきたいです」(竹村さん)



PACIFIC GUARDIAN LIFEの長井さんと Weekly LALALA, LLC の木塚さん。「お料理がとってもおいしいです！」(長井さん)「色んな人と知り合いになれたらなと思っています」(木塚さん)



## 企画広報部会

### LAマラソンランナーの皆さまへ

JBAでは、今年も会員ボランティアによる応援を実施します。場所は、プレントウッドカントリークラブとリビエラカントリークラブの間の23マイル地点です。

LAマラソン実行委員会設置のオフィシャル・ウォーター・ステーションで、水とスポーツドリンクに加えて、いつものようにオレンジ、バナナ、あんぱんを用意してお待ちしています。自己記録の更新、あるいは完走を目指すみなさんを元気に応援して、ボランティアもLAマラソンと一緒に参加いたします。23マイル地点に到達したらJBA応援団に声をかけてください。

なお、マラソン終了後、完走タイムをJBAにお届けいただいた方は、JBAニュースに記録を掲載させていただきますので、ぜひJBA事務局の森 (mori@jba.org) までお知らせください。

HAVE A GOOD RUN!

### 特別経済セミナー開催のお知らせ

来たる3月15日(金)、午前9時30分から正午まで、ミヤコハイブリッドホテル (21381 S. Western Ave., Torrance) にて、特別経済セミナー「米国経済の展望と金利為替動向」を開催します。講師には三井住友銀行・市場営業統括部NY駐在エコノミストの森谷亨氏を迎えます。

このところの円安基調を背景に、日本では日経平均株価が上昇し、株式市場に活気が戻りつつあります。金融危機以降、長く停滞していた米国経済も徐々に立ち直りの兆しを見せ、回復の方向に向かいつつあるように見えますが、経済指標は強弱分かれており、依然として不安要素が拭えずにいます。今回は、米国経済の展望について、マクロ経済、政策・政治動向、金融市場等、さまざまな切り口から分析し、現状と今後の見通しについて考察していただくと共に、金利マーケットの動向について、足許で起こっているトピックをベースに、市場参加者は何に注目し、どのように考え、どのように行

動するののかという視点から、金利為替の動向を解説していただきます。

参加費は、JBA会員は無料。申し込みはEメールにてJBA事務局の森 (mori@jba.com) まで。

## ダウタウン地域部会

### 期末総会・懇親会開催のお知らせ

来たる3月8日(金)、午後6時半からダウタウンのど真ん中にある大人のしゃれたレストランで有名なLE KA (800 W. 6th St. Suite100, Los Angeles) で「ダウタウン地域部会期末総会」と「懇親会」を同時開催致します。会費は40ドル。当日はゴージャスなお食事と豪華景品が当たるラッフルを企画しておりますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加ください！参加申し込み及び問い合わせは、JBA事務局の森 (mori@jba.com) まで。

## サウスベイ地域部会

### 期末懇親報告会開催のお知らせ

来たる3月15日(金)、午後6時からトランスにオープンしたばかりのレストラン「1321 Bistro」(1321 Sartori Ave., Torrance) にて、サウスベイ地域部会期末懇親報告会を開催します。参加費は30ドル。

今年度のSB地域部会活動を振り返りながらの楽しい懇親会です。皆様のご参加をお待ちしております。参加申し込み及び問い合わせは、

JBA事務局の中村 (nakamura@jba.org) まで。

## オレンジ・カウンティ地域部会

### ヘリテージ資料館でのガーデニング体験と園内ツアー

来たる3月10日(日)、午前9時から午後2時まで、OC地区にある Heritage Museum (3101 West Harvard St., Santa Ana) にて、同資料館内にある素敵な園庭でのガーデニング体験と園内ツアーを開催いたします。ビクトリア時代の装飾品を数多く所蔵した資料館と和やかな庭園の中で、心ゆくまでおくつろぎください。本会では、お食事の用意もさせていただき予定です。

参加費は無料。JBA会員及びご家族に限らせていただきます。参加申し込み及び問い合わせは、JBA事務局の奥永 (okunaga@jba.com) ・ ☎310-515-9522) まで。

### 期末報告懇親会開催のお知らせ

来たる3月14日(木)、午後6時30分から、オレンジ・カウンティ地域部会活動の締め括りとして、「期末報告懇親会」を開催いたします。会場はTustin Ranch Golf Club (12442 Tustin Ranch Rd., Tustin)。参加費は1人25ドル。

今年度のOC部会活動をご報告させていただくと共に会員相互の親交を深め、情報交換を行う場として皆様のご参加をOC部会員一同心よりお待ちしております。参加申

し込み及び問い合わせは、JBA事務局の奥永 (okunaga@jba.com) ・ ☎310-515-9522) まで。

ドアプライズ賞品の募集も同時に行っていますので、ご協力をお願いいたします。

## 新入会員

NHK Intex Corporation  
2720 Loker Ave. West Suite A  
Carlsbad, CA 92010  
☎760-918-9600

## 主管者変更

Hitachi Solutions America, Ltd.  
Ted Wakabayashi  
⇒Masakazu Kuji

Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd., The Masahiro Tanaka  
⇒Hideki Kishimoto

## 住所変更及び電話番号変更

Ji2, Inc.  
新住所) 10870 Walker St.  
Cypress, CA 90630

Morimura Brothers (USA) Inc.  
新住所) 3480 Torrance Blvd. Suite 226  
Torrance, CA 90503

Nippon Life Insurance Co. of America  
新住所) 515 S. Figueroa St. Suite 1470  
Los Angeles, CA 90071

## JBA

### JBAがLAEDC(ロサンゼルス郡経済開発公社)より永年会員表彰

文：商工総務部会・宗像宏明

去る1月16日(水)、Los Angeles DowntownのCalifornia Clubにて開催されたLAEDC(ロサンゼルス郡経済開発公社)、Board of Governors Meetingで、JBAが10周年の永年会員表彰を受けました。

当日はJBAからの代表者田中商工総務部会長、及び宗像がBill Allen, LAEDC President and CEOより表彰

を受け記念の楯を受領いたしました。

JBAは、2002年よりJBA並びにLAEDCの双方の目的のために協力していくための枠組みとして、LAEDCと「Memorandum of Understanding」を締結し、Strategic Alliance Partnerとして良好な関係を維持・発展してきております。



## OCBC と戦略的提携

文： 商工総務部会・湊 則男

JBAが積極的に取り組むべき課題の一つに、外部団体との交流を通して、外に向けて積極的にアピールしていくことが挙げられています。メンバーシップ委員会の報告書でも、地域団体との提携が重要課題として挙げられてい



ます。このような背景のもと、このたび、オレンジ・カウンティの地域団体である「Orange County Business Council (OCBC)」との戦略的提携が合意され、1月22日に調印式が行われました。

OCBCは100年の歴史を持つ Orange County Chamber of Commerce が母体であり、1995年に設立された団体で、現時点で、250社以上の企業および団体が投資家として参

画しています。OCBCは、オレンジ・カウンティの経済成長と繁栄をさらに向上させる目的を持ち、政府機関や学校機関とも協働で活動を行っています。「社会基盤」、「労働力」、「ハウジング」、「経済成長」の4つのイニシアチブによって導かれ、取締役会により方針が決定されています。

この戦略的提携により、JBAは、無償で招待されたOCBCのイベントに参画、発行物にアクセスすることができます。また、イベントを通して、メンバー間の交流が促進

でき、情報発信をすることができ、また、共通の課題に対して協議もできることとなります。

このように、この戦略的提携がもたらす潜在的な価値は非常に大きいと考えますが、実際の果実にするには今後の我々の行動にかかっていると云えます。



ORANGE COUNTY  
BUSINESS COUNCIL

## 企画広報部会

### リトル東京散策とJANM見学

文： JBS USA, Inc.・平山勝則さん

1月27日(日)、事前の天気予報では雨とのことでしたが、参加者の皆様の日頃の行いが良かったのかイベント開始前には雨も上がり、心配されたリトル東京散策も無事に終わりました。

リトル東京散策やJANM館内の



ツアーは小グループに分かれ、私たちは、日系2世で戦時中に強制収容所を実際に経験された相原ヤエさんにガイドをして頂きました。実際の経験を交えてお話をいただいたのは、天気が良かったこと以上に幸運だったと思います。ヤエさんは88才とのことでしたが、年齢を感じさせないスピードで階段を登られていたこと、またその立ち姿が凛としていたことがとても印象的でした。

私自身LAに赴任して丸

2年となるものの、恥ずかしながら全米日系人博物館(JANM)には初めての入館の機会でしたが、学ぶものが非常に多く参加をして本当に良かったと感じました。日系アメリカ人の迫害から、1988年にレーガン大統領そして92年のブッシュ大統領による謝罪、そして現在に至るまでの歴史をヤエさんの実体験と共に伝え聞くことが出来たことは、歴史の一端に触れられた気がしたと共に後世に伝えるべきことであるという実感が生まれました。

日本に生まれ高校卒業後に渡米

し大学を卒業した私が歩き、アメリカで生まれ青春期に一旦は自由を奪われたが、それをきちんと償うアメリカという懐の深い国でその後を過ごされたヤエさんが歩き、そして、その間で歩いていたのがヤエさんと同じアメリカ生まれの我が娘(1才3カ月)であったことがまた印象的でした。いままでの歴史の延長が未来への道筋であると感じた一日で、今後の生活の中で考えるべき点がいくつもあるのだということに気が付き、いつも以上に有意義な週末でした。

プランニングの段階から最後の引越しまで

## 事務所、倉庫、工場の移転は

日通のTotal Relocation Plannerにすべてお任せください



20年以上の経験と実績が  
御社の移転プロジェクトを確実に実施!!

- 移転に関するコンサルティング ●オフィス物件の紹介
- オフィスデザイン・レイアウト設計 ●移転・引越作業
- 内装・電気工事 / 電話・LANの配線作業
- 各種規制・許可の申請と確認 ●その他

日本へ

当店の取り扱い荷物は引越荷物(別送品) 限定です

ペリカンシーパック 1箱 \$100.00

ペリカンコンボ 5箱 \$500.00

シングルシンパック 最大25箱で\$940~



安心と信頼のブランド

米国日本通運 310-515-2222

お問合せは日本語で ニッツーニッツー

www.nittsu-pelicanclub.com

19500 S. Vermont Ave., Torrance, CA 90502  
お荷物受付時間: 月~金 9am~11am, 1pm~4pm



## オレンジ・カウンティ地域部会

### 「スーパークロス観戦」レポート

文：Mitsubishi Power Systems Americas, Inc.・内山篤さん

2月2日(土)に、Angel Stadiumで行われたイベントを家族で観戦しました。

当初、妻と娘はあまり興味がないうので、果たして楽しめるのか?という一抹の不安もありましたが、アメリカっぽいイベントなのでこの機会に行ってみよう!ということで家族3人で申し込みさせて頂きました。

当日、まずはJBA特典バスを利用してのパドック見学。日本メーカーチームのパドックを一通り見学しましたが、盛り上がっているのは



私一人といった感じで少し不安が再燃。

しかし、いざスタジアムへ入場してみると、グラウンドには大量の土が搬入され山あり谷あり急カーブありのコースが特設されており、これだけでもかなりの迫力で、妻と娘も少しテンションが上がってきました。派手なオープニングセレモニーに続きレースが始まると、迫力あるエンジン音、豪快なジャンプ、混戦のカーブでの転倒など、ハラハラドキドキしながらの観戦となり、家族皆で楽しむことができました。テレビで見るのとは全く違って、肌で感じる貴重な体験でした。

当企画をはじめ、米国や南CAならではの貴重な体験を気軽に楽しむ機会を与えていただき、ご尽力頂いているJBAの皆様、本当にありがとうございます。

## オレンジ・カウンティ地域部会

### 自生植物保護活動レポート

文：Ricoh Electronics, Inc.・袋井健太さん

1月13日(日)、オレンジ・カウンティ地域部会主催の地域貢献イベント「Upper Newport Bay 自生植物保護活動とピーター・メアリームットセンター見学」が開催され、JBA会員とご家族28名が集まりました。当日の朝は冷え込みが強く、屋外での活動が少し心配されましたが、南カリフォルニアのあふれる日差しの下で暖かくなり、絶好の野外活動日和となりました。

今年は新しい草木を植える活動を、オレンジ・カウンティで環境保護に取り組む団体「OC Parks」の指導の下で行いました。慣れない



シャベルで硬い土を掘り起こすことにははじめは皆さん悪戦苦闘しながらも、家族で楽しみながら作業を行い、多くの草木を植えることができました。OC Parksの皆さんにも感謝の言葉をいただくことができました。

また、隣接する「ピーター・メアリームットセンター」は自由に見学することができ、Upper Newport Bayでの自然保護活動の重要性を学んだり、館内で飼育されている動物(ヘビもいます)を見ることができました。

今回のイベントを通じて、地域貢献活動へ参加することの大切さ、楽しさを皆さん実感されたのではないかと思います。JBAでは他にも地域貢献活動が開催されていますので、ご家族で楽しみながら地域貢献活動に是非参加されてはいかがでしょうか。

## オレンジ・カウンティ地域部会

### ミュージカル『How To Train Your Dragon』鑑賞レポート

文：Willis Insurance Services of California・安藤秀太郎さんの夫人の美乃さん

1月20日(日)にHonda Centerで開催されたミュージカル「How To Train Your Dragon」を家族で観賞しました。

日本語訳では「ヒックとドラゴン」。イギリス作家の児童文学シリー

ズで2010年にはアニメーション映画にもなっているようです。パイキングとドラゴンが戦う時代の中、心優しい少年Hiccupとドラゴンの間に友情が芽生え、相互にとって平和な関係が築かれていくというス

トーリー。

これまでのミュージカルのイメージとは異なり、映像を駆使したショーを観ている感じがしました。ドラゴンたちが火を吹き登場するシーンは、あまりにリアルで女の子

には少し恐怖でしたが、男の子たちはドラゴングッズを手にし大興奮だったようです。

Anaheim Ducksの本拠地Honda Centerに来られたことも良い思い出となりました。

**自動車リース**は  
アメリカでクレジットが無いと  
出来ないと思いませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でもOK!
- 全米どこでもOK! どんな田舎でも、都会でもOK!
- どんな車種でもOK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でもOK!
- リース期間は1年からOK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 金利は5.45%と格安です。(2005年9月現在)
- 納車は注文からわずか一週間ほどで可能です!
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。

\*現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様に全米でご利用いただいております。

いえ、  
**出来るんです**  
どなたでも、全米どの町でもOK!

お気軽に電話または  
e-mailでお問い合わせください。

電話：213-621-7775  
担当は 大橋: ohashi3@pacbell.net  
又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

**特報** カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リースもありますので、在庫車種をお問い合わせください。

\*各種情報はウェブサイトでもご覧になれます。  
[www.LaJapaneseAuto.net](http://www.LaJapaneseAuto.net)

親切で安心して任せられる25年の実績と信頼 **LOS ANGELES JAPANESE AUTO**  
810 E. 1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel: (213) 621-7775 • Fax: (213) 687-0909

## JEG (Japan Enrichment Grant) 2012年度授与式を開催

文：Epson America Inc.・山田利治

1月17日、日本文化や日本語の教育プログラムに対するGrantとして2007年より実施しているJEG (Japan Enrichment Grant) プログラムの2012年度授与式をJBA会議室にて行いました。

本年度の授賞は6校。総額9970ドルが授与されました。

授賞テーマは、日本文化の象徴である太鼓や民謡を学ぼうというもの。伝統芸術であり、豊かな心を育む書道を授業に取り入れようというもの。国語辞典や漢字辞典に生徒自ら触れ、日本語学習に対する興味や成果を高めようというもの。さらに日本庭園づくりやそこのイベントを通し、日本文化と日本の価値観「もったいない」への考察を深めようというものなどを含めた6テ

マです。

授与式・その後の歓談では、日本文化や日本語教育を通して、生徒の豊かな心を育もうとする先生方の熱意に触れ、部会メンバー一同、JBA教育支援活動として先生方をサポートできることを大変嬉しく感じました。

昨今の政府教育予算カットは、各学校区における日本文化や日本語教育関連の予算確保を大変厳しくしています。そのような中、JBAの教育支援活動の意義はますます高くなっていると思います。Charity Golfへの支援をはじめ、教育支援活動のために寄付をいただきました皆様に感謝いたしますとともに、今後の活動につきましても引き続きご協力をお願いします。



### 学校名 / プロジェクト内容

El Marino Language School Cultural Enrichment: Eisa (沖縄民謡「Eisa」)	Long Beach Polytechnic High School Taiko Concert & Workshop
Katella High School 書道	North High School そうらんぶし
Laurence Middle School/High Gifted Magnet Mottainai Garden (校内に日本庭園をつくる)	Verdugo Woodlands Elementary Read to Succeed (国語辞典、漢字辞典)

## あさひ学園

### 2013年度入園・入学審査

#### あさひ学園事務局

2月の声を聞けば、あさひ学園では毎年入園・入試が行なわれる。長引いている不景気の煽りを受けて、当校でも生徒数の減少は免れないが、それでも幼稚部、小学部1年生、高等部1年生で合計約180名の受験者が、2月3日の穏やかな日にサンゲール校に集まってくれた。

不景気の中にありながら、毎年、このような数の受験者が応募してくれるが、引率で来た保護者に受験の理由を聞いてみると、あさひ学園の勉学の質の高さを挙げていた。学校教育に於いて、このような言葉ほど嬉しいものはない。教職員一同、身の引き締まる思いがした。

4月になれば、これらの園児、小学

1年生、また高校生が、サンタモニカ校、サンゲール校、トランス校、オレンジ校に希望に胸を膨らませながら入学することでしょう。それは、また多くの友人を作ることに繋がっている。あさひ学園を卒業した同級生同志は、社会人になってからも友人として付き合っているという話を聞く。これぞまさしく、学校教育

の一環でもあろう。それでは、4月の入学式で会いましょう！



## 北川 & イベート法律事務所



**KITAGAWA & EBERT, P.C.**

北川 リサ 美智子 弁護士

カリフォルニア州・ジョージア州認可  
京都大学法学修士・連邦最高裁判所認可弁護士

QUALITY  
高質

EXPERIENCE  
経験

RESULTS  
結果

REASONABLE  
良心的

- ∞ 会社法(設立、一般事務、M&A)
- ∞ 訴訟・調停・仲裁・債権回収
- ∞ 雇用法・セクハラ・残業・RIF
- ∞ 不動産・リース

- ∞ 契約法・ビジネス取引
- ∞ 商法
- ∞ 流通・発売契約
- ∞ 遺産・相続

**#1 Choice of Prominent Companies**

TEL(949) 788-9980 [WWW.JAPANUSLAW.COM](http://WWW.JAPANUSLAW.COM)

8001 Irvine Center Drive Suite 960, Irvine, CA 92618-2920



## 2012年度現地公立校教育支援寄付贈呈報告

教育部会では、2012年度チャリティーゴルフトーナメント及びJBA Foundationへのご寄付総額約7万3000ドルのうち、1万6000ドルを現地公立校教育支援として計7校、2学校区に贈呈しました。

贈呈先は各地域部会により選定され、地域部会メンバーがそれぞれの学校・学校区を訪問、JBAのミッションを説明の上手渡しました。

### ダウントウン地域部会



Coolidge Elementaryにて。渡辺さん(右)



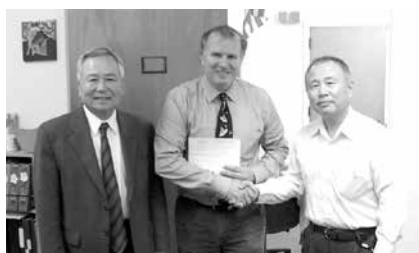
John Muir Middleにて。阿岸さん(右)



South El Monte Highにて。川田さん(左)、あさひ学園・長田事務局長(右)



Van Nuys Highにて。室井DT部会長(左)



Daniel Webster Middleにて。あさひ学園・長田事務局長(左)、川田さん(右)



South Highにて。山内SB部会長(左)、あさひ学園・長田事務局長(右)

### オレンジ・カウンティ地域部会



Garden Grove Unified School Districtにて。あさひ学園・長田事務局長(右)



Irvine Unified School Districtにて。下川OC部会長(左)、ケリーさん(右)

### サウスベイ地域部会

### 贈呈先

#### DT

- Coolidge Elementary School
- Daniel Webster Middle School
- John Muir Middle School
- South El Monte High School
- Van Nuys High School

#### SB

- Carr (Evelyn) Elementary School
- South High School

#### OC

- Garden Grove Unified School District
- Irvine Unified School District

# 使わない分まで 払いすぎているませんか?



料金プランは  
月額\$15から  
ご用意!



Galaxy™Nexus™

アメリカの携帯電話なら DOCOMO USA Wireless™ へ! 御社の携帯電話プランを診断、適切なアドバイスをします。

Mitsuwa

トーランス店内に  
サポートデスクも!

●お問い合わせ/お申し込みは

トール  
フリー

1-888-362-6661

Eメール

la\_sales@docomo-usa.com

詳細は

www.docomousawireless.com

NTT docomo

NTT DOCOMO USA, Inc.

●表示金額には、契約事務手数料、各種税金、国際通話など別途ご利用に応じて課金される料金、サービス料などは一切含まれておりません。※「Galaxy™」はSamsung Electronics Co., Ltd.の商標または登録商標です。※「Nexus™」はGoogle Inc.の商標または登録商標です。●「DOCOMO USA Wireless™」およびロゴは、株式会社NTTドコモの商標です。

発行 : 南カリフォルニア日系企業協会 (JBA)  
 編集 : JBA 企画広報部  
 企画広報部会長 : 米本恭庸 (Kintetsu Int'l Express (USA), Inc.)  
 副部長 : 大口利浩 (JTB USA, Inc.)  
 : 前川武俊 (KPMG LLP)  
 部会員 : 阿部ジェームス (Alston & Bird LLP)  
 : 中川仁太郎 (Epson America, Inc.)  
 : 吉野真市 (Ernst & Young LLP)  
 : 森原 潔 (I-COM, LLC)  
 : 黒田順子 (Interface in Design)  
 : 須合浩司 (KDDI America, Inc.)  
 : 山田崇文 (Kirin Brewery of America LLC)  
 : 光永真久 (Liner Grode Stein et al. LLP)  
 : 三木幸平 (METRO SIGNS, INC.)  
 : 松浦光芳 (Mizuho Corporate Bank, Ltd.)  
 : 竹森達二 (Nippon Express U.S.A., Inc.)

磯部広貴 (Nippon Life Insurance Co. of America)  
 江口邦宏 (OYO Corporation U.S.A.)  
 熊崎 猛 (Sumitomo Electric U.S.A., Inc.)  
 林 隆人 (Tokio Marine Management, Inc.)  
 吉山恭子 (Union Bank)  
 岡野進一郎 (United Television Broadcasting Systems, Inc.)  
 葉 英祿 (US Remac, Inc.)  
 水野真琴 (Yamato Transport U.S.A., Inc.)  
 オブザーバー : 天野宏之 (Consulate General of Japan)  
 : 太田吉信 (Japan National Tourism Organization)  
 : 宮崎貴哉 (JETRO, Los Angeles)  
 : 三木昌子 (Lighthouse)  
 (社名アルファベット順)

制作協力 : Lighthouse

外国に住んでいても、日本はふるさと。  
 笑顔にあふれた国を、思い描きながら、  
 選挙に参加しました。

## 私も投票します ふるさとが好きだから



### 在外選挙制度

平成25年には、国政選挙が予定されています。投票するには、予め、在外公館で登録申請が必要です。登録申請にはパスポートをお持ちください。

詳しくは 外務省ホームページで…

在外選挙

約110万人の在留邦人のうち、97万人の方が在外選挙をご存じです。在外選挙の有権者は75万人で、その16%に当たる12万人が在外選挙人証をお持ちです。ふるさと日本の将来のため、在外選挙人登録をして投票に参加しましょう。

お問い合わせは 在ロサンゼルス総領事館 (213-617-6700) まで

外務省

## パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための総合金融サービスパッケージ

三菱東京UFJ銀行の100%子会社であるユニオンバンクが自信をもってご提供する、米国駐在員の皆様向けのサービスです。

- 渡米前に日本からの口座開設が可能
- 便利な日本語コールセンター (フリーダイヤル・日本時間にも対応)
- ご帰国後の口座管理にも便利

まずは日本語フリーダイヤルまでお問い合わせください。1-888-507-7669

※このプログラムのご利用は会社登録をされた企業の駐在員に限られます。

